



市民ネットワーク北海道 議会レポート 北広島

発行／市民ネットワーク北海道 〒060-0041 札幌市中央区大通東2丁目15-1 サラサビル4F
TEL011-219-0112 FAX011-219-0113 ●ホームページ<https://snet21.jp/>



北広島市議会議員
鶴谷さとみ



北広島市議会議員
佐々木ゆりか

敗戦から80年 核のない平和な世界を

ウクライナ侵略をはじめ、イスラエル軍とアメリカ軍によるイラン国内の核施設等への空爆等、依然として戦禍は停まらず、民間人の犠牲は拡大するばかりで胸が痛みます。第2次トランプ政権発足以降「自分の国は自分で守る」と、再び自国第一主義が拡大し核依存が強まっています。日本国内では、神奈川の米軍基地等に配備されているオスプレイや巨大戦艦が、日本の民間工場で整備されており、東アジア周辺の動向に対応できる体制づくりが目的と言われています。さらに、南西諸島における「台湾有事」に備えた自衛隊基地の強化など、緊張の高まりが大きく懸念されます。

今年、日本は、敗戦から80年を迎えます。北広島市の平和都市宣言に「原爆の脅威を目のあたりにした日本国民が、広く世界に向けて平和の尊さを訴えていくことは極めて意義深いもの」とあるように、唯一の被爆国として「二度と戦争を繰り返さない!」と、核のない平和な世界に向けた活動を広げていく努力が、今こそ必要です。

一人ひとりのチカラを重ね合わせ、地域から未来の平和をつくる活動を市民のみなさんとともにすすめていきます。

チェルノブイリデー市民集会

4月26日



▲「原発いらない!いのちが大事!」と、札幌大通を行進する佐々木ゆりか(右から2人目)

チェルノブイリ原発事故から39年。国は原発事故の甚大な被害や教訓を顧みず、原発回帰政策に舵を切り、泊原発再稼働に向かう動きも続いています。「全国避難者の会 共同代表」の中出聖一さんは、自身の経験から「事故が起きたとき一番大変なのは障がいを持つなど逃げるのが困難な人たちです」と話されました。ふるさとを守り、豊かな自然や安心して暮らせる社会を次世代につなぐため原発に頼らない社会をつくっていきましょう。

2025年第2回定例会 5月14日~6月6日

常任委員会等の改選が行われ、新たな議会体制がスタートしました。

【所属委員会】

鶴谷 聡美 議会運営委員会、民生常任委員会
佐々木百合香 建設文教常任委員会
議会広報編集委員会 副委員長

「義務教育期間における多様な学習環境の整備」に関する請願 6月3日

(紹介議員：鶴谷聡美)

子育ての中で「子どもが学校に行けなくなる」ということは、どの家庭にも起こりうることです。そうした事態に直面したときに使える選択肢を増やすことや相談体制の拡充を求める請願が、保護者から提出されました。建設文教常任委員会では、請願者が市に求めたい具体的な支援などを確認する質疑が行われましたが結論に至らず継続審査となりました。

